

ドア音ケア <引き戸用> SC-100 タイプ

取扱い説明書(表) … 1/2 ページ

【お客様へ】 ●《本紙：取説》《別紙：取付け手順書》は、製品設置後もいつでもご覧になれるところに大切に保管ください。

●《付属品：取付け用工具》は、製品設置後に不要となりますが、必要に応じて保管ください。

(後日、製品を付け直す必要が生じたなどの際に再使用いただけます。)

●本製品は、建具側に加工することなく《強力テープで取付けて設置するタイプ》です。

《テープだけで取付けるのに不安を感じる》《建具側に上手く付かない》場合は、ネジ止めを追加して設置することもできます。… 詳細は、以下の【補足説明】の欄を参照ください。

⚠ 取扱い上のご注意

- 本品は、室内ドア用のソフトクローザーです。※屋外には使用できません。劣化を早める原因となるため《浴室》には設置しないでください。
- 一般住宅の《戸車付き木製引き戸》に使用できます。… 現在ご使用中の戸にも《後付け》することができます。
- 引っ掛りがあったりスムーズに開け閉めできない戸の場合、正常に動作しないことがあるのでご注意ください。
- 戸1枚に対し、製品1セットを取付けてください。 ●本品を取付ける前よりも、戸を開けるのが多少重くなります。
- 故意に戸を勢いよく開け閉めしないでください。… 故障の原因となります。

※ 本取説の説明図は、見やすくするために各部を色付けしています。… 実際の製品色とは異なります。

【補足説明】ネジ止めを追加して設置する場合

※追加ネジは別途ご用意ください。

●貼付け面の素地が以下の場合、《建具側に上手く付かない》ことがあります。

- ◆素材：＜布製・紙製の壁紙＞ ＜軟質塩ビ＞ ＜シリコン・フッ素樹脂を表面コートしたもの＞
- ◆状態：＜塗装が剥がれやすい面＞ ＜湿気を多く含んだ面＞ ＜凹凸が激しい面＞ ＜曲面／歪んだ面＞

●ネジ止めを追加して設置する方法

- ◆取付け手順書通りテープ止めで製品の設置を完了させた後、更にネジ止めを追加して建具に固定してください。

【左右ストッパーのネジ止め】

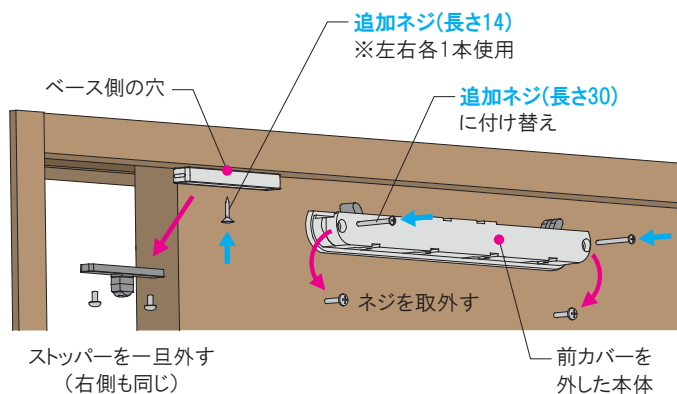
※追加ネジ：(+) 皿頭タッピンネジ 3×14 …計2本使用

- ★ネジを外してストッパーを外せば、ベース側の中央に＜穴＞があります。その穴を使用して追加ネジで建具(上枠)に固定する。
- ★左右のストッパー共に同じ要領です。

【本体のネジ止め】

※追加ネジ：(+) ナベ頭タッピンネジ 3×30 …計2本使用

- ★前カバーを外せば、本体の左右2箇所ネジがあります。そのネジを取外し、追加ネジに付け替えて建具(戸)に固定する。



■取付けの前に

【重要】建具側の上枠の溝に＜引き戸用ブレーキ＞が付いている場合は、必ず取外してください。※付けたままですと、本品が正常に動作しません。

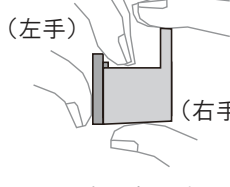
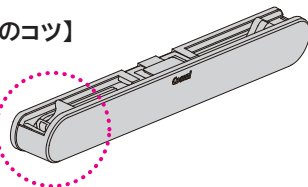
■《別紙：取付け手順書》について

●《取付け手順書》(以下、手順書と記述)をよくお読み頂き、正しく取付けてください。

●手順書【3項】補足説明

【本体の＜カバー＞を外す時のコツ】

- ◆出来るだけ製品の端部分を両手で持つ



◆指の掛け方

◆外し方



【ご注意】

★ネジ長さ14は《皿頭》



★ネジ長さ30は《ナベ頭》

②回転させる感じで矢印方向に力を加える

③カバーが外れる

①親指を支点にしながら

●手順書【4項】補足説明

【開け切り側のソフトクローズ機能をご使用にならない場合】

- ★＜開け切り側のベース(ストッパーユニット)取付け＞は不要ですので、【4項】をとばして【5項】へ進んでください。

【各部品を取付けし直したい場合】

- ★【4項】の＜仮固定＞の時点で部品を外して、再度＜仮固定＞し直してください。
- ★＜本体と上枠が一見して平行になっていない時＞も、本体を一旦外してから【3項】の要領で＜仮固定＞し直してください。
- ★ゆっくり剥がせば比較的簡単に外れます。… 部品を破損させないように慎重に外してください。
- ※【5項】の＜本固定＞後は、部品を外するのが困難になるのでご注意ください。
- ※ 外した際に両面テープがダメになった場合は、新しいものに貼り替えてください。

《推奨》3M スコッチ 超強力両面テープ プレミアゴールド スーパー多用途 粗面用

取扱い説明書(裏) … 2/2 ページ

●手順書【4項】 補足説明 … (表)ページのつづき

【上枠と本体との隙間が小さすぎて、その隙間に工具が差込めない場合】

- ★＜建具側（枠）の変形＞が製品の許容範囲を超えていることが考えられます。
- ★＜開け切り側＞のストッパーユニットは取付けずに、＜閉め切り側＞のソフトクローズ機能だけでご使用ください。

●手順書【6項】 補足説明 … 【動作確認】【微調整】について

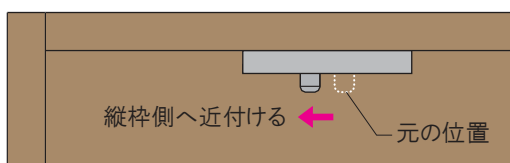
- ★テープ本来の接着力がでるまでに約1日かかります。動作確認の際は、＜必要以上に勢いよく戸を開閉＞しないでください。

【動作確認】実際に戸を開閉して ＜正常に動作するか＞を確認

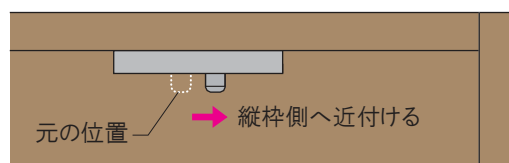
- ★＜自動でゆっくり引込みながら＞⇒＜閉め切る＞＜開け切る＞のどちらもスムーズに動作するかを確認する。
※スムーズに動作しない場合は、＜建具側の敷居の溝や戸車＞にゴミ等が付着していないか確認してください。
※製品を取付ける前の戸自体がスムーズに開け閉めできない場合は、正常に動作しないことがあります。

【微調整】＜戸を引込む力＞が少し弱いと感じた時

- ★ストッパーユニットのストッパー位置を調整し、縦枠側に近付けることで＜引込む力＞を強めることができます。
- ★調整方法：＜ネジを少し緩めてストッパー位置を調整＞⇒＜ネジを締め直す＞
※但し、その分だけ戸を開ける時も重くなります。



【左側のストッパーユニット】



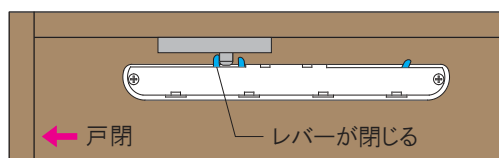
【右側のストッパーユニット】

■ 正常に動作しない時の対処法について

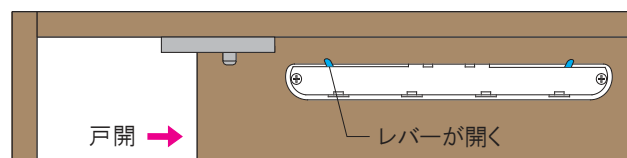
●戸閉時は正常に動作するが、戸開時に本体のレバーが正常に動作しない時

- 【現象】戸開時、本体のレバーが一旦開いた状態になるが、閉じた状態に戻ってしまう。
(その状態で戸を閉めると、レバーがストッパーに当たって戸が閉まり切らない。)

- 【原因】ストッパーのレバーへの掛りが浅いことが考えられます。

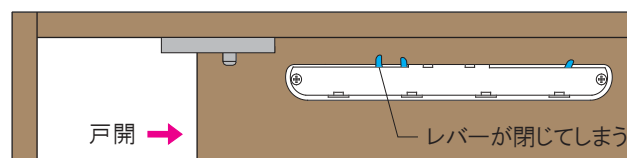


【戸閉時】正常に動作した状態



【戸開時】正常に動作した状態

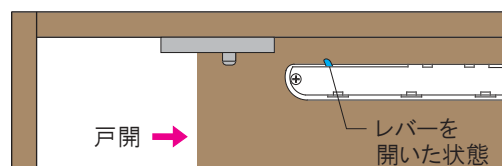
※ レバーの状態をわかりやすくするために便宜上、
本体カバーを外した状態の図で説明しています。
… 実際には、カバーを外す必要ありません。



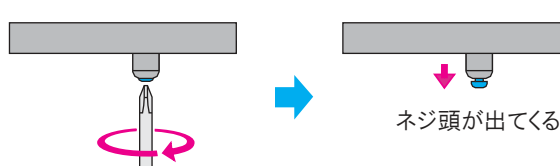
【戸開時】レバーが正常に動作しない状態

- 【対処法】ストッパー先端の調整ネジを回すだけで、ストッパーの掛りを深くすることができます。

- ★戸を開けた状態にしてから、調整ネジを回してネジ頭の突出加減を微調整していきます。
- ★ネジは一気に回さず、＜1回転させる⇒レバーへの掛かり具合を確認＞を必要に応じ繰り返してください。
- ★掛かり具合を確認する際は、その都度＜レバーを開いた状態＞にしてから行ってください。



★ストッパーを越える位置まで戸を開けて、レバーを開く



★調整ネジを矢印の方向に1回転させる

■ お手入れの際は

- シンナーなどの有機溶剤等で清掃しないでください。… 劣化や破損の原因となります。
- 軽い汚れ… 柔らかい布に水を少量付けて軽く拭取る。
- その他汚れ… 柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少量付けて拭取り後、洗剤の残りもきれいに拭取る。

●右開き戸
紙の端を縦枠に当てる 【位置決め用物差し】 縦枠から 100mm の位置

●左開き戸
縦枠から 100mm の位置 【位置決め用物差し】 紙の端を縦枠に当てる

ドア音ケア<引き戸用> SC-100タイプ 取付け手順書 … <別紙の取説>も併せてお読みください。



★取付け手順については、
動画で見ることができます。
← 動画はコチラ

<1/2 ページ>

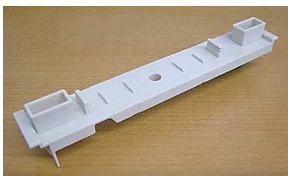
各部品について ●部品が全て揃っていることを確認してください。(写真の製品カラーは『オフホワイト』です。) ※作業の際、(+)ドライバーが必要です。



◆本体ユニット … 1個
<戸の表面に取付けます>



◆ストッパーユニット … 2個
<上枠の下面に取付けます>



◆取付け用工具 … 1個
<取付け作業時に使用します>



◆(+)ドライバー … ご準備ください。
<取付け作業時に使用します>



引き戸のタイプについて ●<右開き> か <左開き> を事前に確認してください。

☞ <右開き戸> と <左開き戸> で部品の取付け位置が左右逆になります。



◆戸をく閉め切った状態>



◆戸をく開け切った状態>



◆設置完了後の写真 ※部品の取付け位置



◆戸をく閉め切った状態>



◆戸をく開け切った状態>



◆設置完了後の写真 ※部品の取付け位置

取付け手順

- 本品は、強力テープで固定します。 ※ネジ止めは不要です。
- 設置の前に：テープで確実に固定するため、予め貼付ける箇所を <汚れや油分等> を必ず除去してください。

☞ ココがポイント：除去する箇所 <上枠(鴨居)の下面> <戸の表面：上枠の下50mmの範囲>

【ご注意】高所での作業となります。
安全には十分にご注意ください。

★<右開き戸> と <左開き戸> で部品の取付け位置が左右逆になります。 その部分については、【左側】と【右側】に分けて記載し説明しています。

<右開き戸>の場合は、【左側】の手順で作業を進めてください。

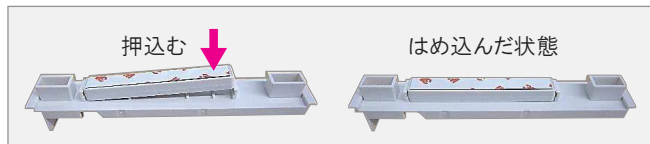
<左開き戸>の場合は、【右側】の手順で作業を進めてください。

1 ストッパーユニットを一旦分解して、工具にセットする

- ① (+)ドライバーでネジを外して、分解する
- ② ベース(1個)のみを工具にはめ込む。



◆2個共に分解



◆斜めに置いてから、手で『パチン』と押し込む



◆部品を箱等に保管

☞ ココがポイント：分解後の部品は、無くさないように箱等に入れて保管してください。

2 工具を使って、上枠下面にベースをく仮固定>する … 戸のく閉め切り側>

☞ ココが【重要】：必ず<戸を完全に閉め切った状態>で行うこと！



●右開き戸



●左開き戸

- ① 上枠に工具を位置決めするための目印をつける ※本紙上記(欄外)の【位置決め用物差し】を使用します。



◆物差しをく縦枠と上枠>の2面に当てながら



⇒ 物差しの100mm位置に合わせて、上枠にテープ等で目印をつける ⇒ 物差しを外す



⇒ 物差しを外す

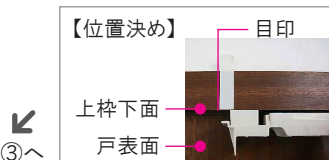


⇒ 物差しを外す

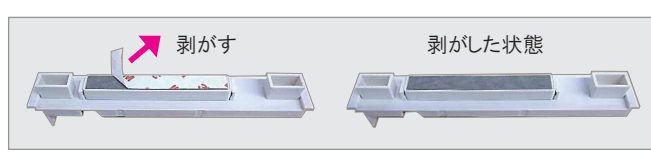
- ② 工具にセットしたベースのくテープの剥離紙>を剥がした後、建具側に【位置決め】する

★【位置決め】は、工具をく上枠下面と戸表面>の2面に当てながら、工具の端をく目印>に合わせる。

☞ ココがポイント：工具の向きに注意！



③へ



③へ

- ③ 工具を位置決めしたまま、(+)ドライバーでベースを押し込んでく仮固定>する。

☞ ココがポイント：<仮固定>後に工具を外さないこと！ … 後で外します。



◆工具の穴にドライバーを挿入 ⇒ そのままドライバーで少し押し込めば、工具からベースが外れて上枠にくく仮固定>されます。



◆工具の穴にドライバーを挿入 ⇒ そのままドライバーで少し押し込めば、工具からベースが外れて上枠にくく仮固定>されます。



◆工具の穴にドライバーを挿入 ⇒ そのままドライバーで少し押し込めば、工具からベースが外れて上枠にくく仮固定>されます。

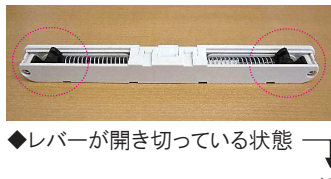
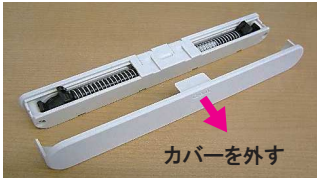


◆工具の穴にドライバーを挿入 ⇒ そのままドライバーで少し押し込めば、工具からベースが外れて上枠にくく仮固定>されます。

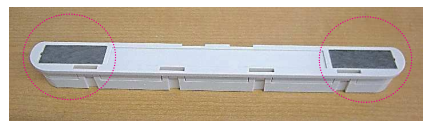
➡ 裏面<2/2ページ>へ続く

3 本体を工具で位置決めし<仮固定>する

①本体の<カバー>を一旦外す ⇒ 【外した後に確認】レバーが左右に開き切っていること！



②本体裏側の<テープの剥離紙>を剥がす



👉 **ココがポイント:** カバーを外す時のコツは<取説>を参照

※ 閉じている場合は、写真の位置までレバーを外向きに引張ってください。

👉 **ココが【重要】:** 必ず<戸を完全に閉め切った状態>で行うこと！

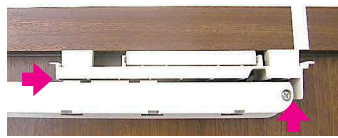
③本体を工具に合わせて位置決めする



④位置がズレないように手で支えながら、本体を軽く押付けて<仮固定>する



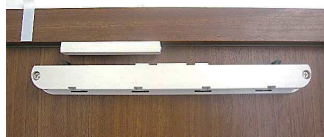
③本体を工具に合わせて位置決めする



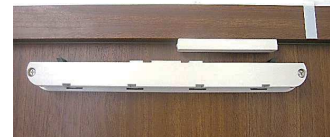
④位置がズレないように手で支えながら、本体を軽く押付けて<仮固定>する



⑤工具だけを外す



⑤工具だけを外す



4 もう一方のベースを位置決めし<仮固定>する … 戸の<開け切り側>

👉 **ココが【重要】:** 必ず<戸を完全に開けきった状態>で行うこと！



◆<閉め切り側>とは逆方向に開け切ってください。

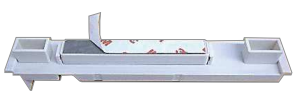


◆<閉め切り側>とは逆方向に開け切ってください。

①外した工具にベースをセット



②テープの剥離紙を剥がす



③工具のスペーサーを外す



👉 **ココがポイント:** 必ず2個共外すこと！

④工具の位置決め



◆工具を矢印部分(隙間)に差込みます。

④の続き



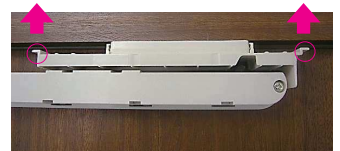
◆<本体端>に当てながら差込む ⇒ <本体端と戸表面>の2面に当てる

④の続き

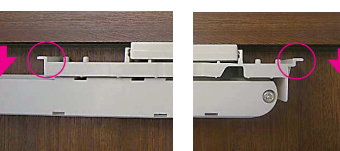


◆<本体端>に当てながら差込む ⇒ <本体端と戸表面>の2面に当てる

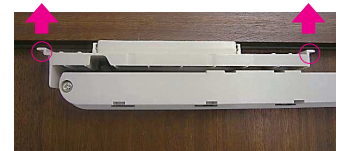
⑤ベースを上枠に<仮固定>する



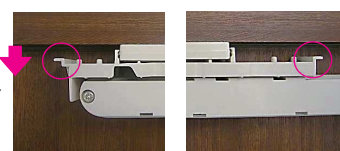
⑥工具を外せる状態にする



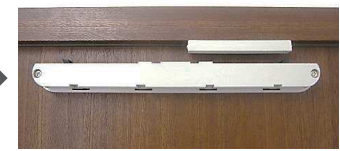
⑤ベースを上枠に<仮固定>する



⑥工具を外せる状態にする



⑦工具だけを外す … 外した後は、戸を動かしても問題ありません。

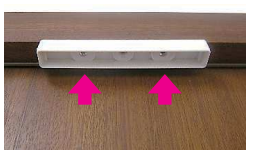


⑦工具だけを外す … 外した後は、戸を動かしても問題ありません。



5 ベース&本体 を<本固定>し、先に外した部品を取付ける

①<左右のベース&本体>を強く押付けて <本固定>する。



👉 **ココがポイント:** 10秒程度圧着すれば、しっかり固定できます。

②先に外した<ストッパー&ネジ>を<端寄せ>でベースに取付ける



③先に外した<前カバー>を本体にはめ込む



◆平行にしながら押込めば、『パチン』と音が鳴りはまります。

●右開き戸

●左開き戸



◆設置が完了した状態

6 以上で、設置完了です。

最後に【動作確認】【微調整】を行えば、ご使用いただけます。 … 詳しくは、取説を参照ください。